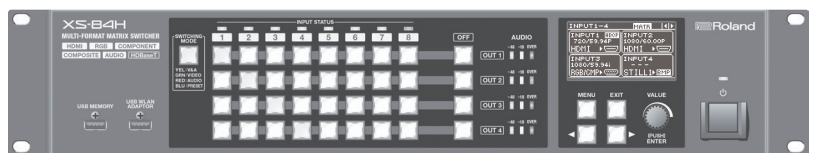
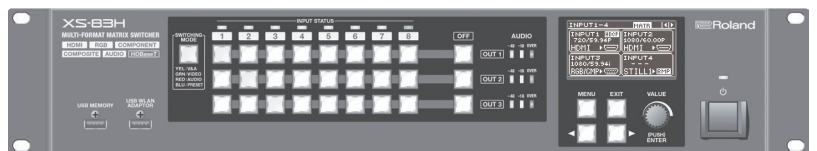
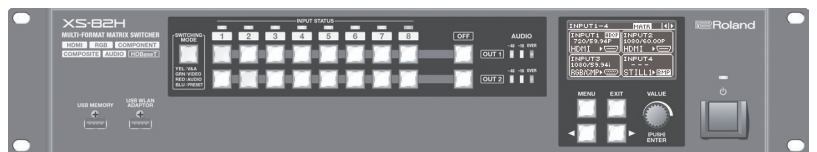


XS-82H XS-83H XS-84H

MULTI-FORMAT MATRIX SWITCHER



リファレンス・マニュアル

Ver.2.00 以降

XS-82H / XS-83H / XS-84H のシステム・プログラムを最新の状態にしてお使いください。システム・プログラムのバージョンアップ情報は、ローランドのホームページ (<http://www.roland.co.jp/solution/>) をご覧ください。
システム・プログラムのバージョンは、[MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [VERSION] で確認できます。

目次

メニュー一覧.....	3
VIDEO INPUT.....	3
VIDEO OUTPUT.....	4
TRANSITION.....	5
OFF SWITCH.....	5
MULTI.....	6
AUDIO INPUT.....	6
AUDIO OUTPUT.....	8
AUDIO CONTROL.....	9
MODE.....	9
PRESET MEMORY.....	9
EDID.....	10
「INTERNAL」設定時の送信データ.....	10
RS-232C.....	11
LAN.....	11
WIRELESS LAN.....	11
USB MEMORY.....	11
SYSTEM.....	12

ネットワークの設定.....	13
ネットワークの機能.....	13
無線 LAN で接続する.....	14
準備する.....	14
無線 LAN の接続状態を確認する.....	14
本機と iPad を直接接続する (AD-HOC モード).....	14
無線 LAN 親機に WPS で接続する.....	15
無線 LAN 親機を選んで接続する.....	15
ワイヤレス ID を設定する.....	16
無線 LAN の情報を確認する.....	16
無線 LAN 親機を有線で接続する.....	16

著作権保護 (HDCP) のかかっている映像を 扱うときのご注意.....	17
--	----

コマンド・リファレンス.....	18
RS-232C 端子の仕様.....	18
コマンドの概要.....	18
LAN 端子を利用した制御.....	18
受信コマンド.....	19
送信コマンド.....	21

※ Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

※ 文中記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

メニュー一覧

[MENU] ボタンを押すと、メニューが表示されます。

メモ

- ・ [VALUE] つまみを押しながら [EXIT] ボタンを押すと、設定中のメニュー項目を工場出荷時の値に戻すことができます。
- ・ [VALUE] つまみを押しながら回すと、設定値を大きく変えることができます。

VIDEO INPUT

※ 入力/出力フォーマットによって、設定範囲が変化します。また、設定値を変更しても映像に変化がない場合があります。

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第 2 階層	第 3 階層		
INPUT-1 : INPUT-8	INPUT SELECT	HDMI , RGB/COMPONENT, COMPOSITE, YC, STILL1, STILL2, STILL3, STILL4, SHARE (*1)	入力する映像信号の種類を設定します。
	HDCP INPUT ENABLE (*2)	DISABLE, ENABLE	著作権保護 (HDCP) のかかっている映像の入力を許可する/しないを設定します (P.17)。
	AUTO SAMPLING (*3) (*4)	(ENTER)	RGB 信号の入力時、自動調整を実行します。
	COLOR SPACE (*5)	AUTO , RGB (0-255), RGB (16-235), YCC (SD), YCC (HD)	入力映像のカラー・スペースを設定します。
	FLICKER FILTER (*5)	OFF , ON	[ON] に設定すると、入力映像のフリッカー (ちらつき) を軽減します。
	ZOOM (*6)	10% ~ 100% ~ 1000%	入力映像の縮小/拡大率を調整します。
	TYPE	FULL , LETTERBOX, CROP, DOT BY DOT, MANUAL	入力映像のアスペクト比を調整します。
	MANUAL SIZE H	-2000 ~ 0 ~ 2000 (pixel)	入力映像の水平方向のサイズを調整します。
	MANUAL SIZE V	-2000 ~ 0 ~ 2000 (pixel)	入力映像の垂直方向のサイズを調整します。
	POSITION H	-1920 ~ 0 ~ 1920 (pixel)	入力映像の水平方向の位置を調整します。
	POSITION V	-1200 ~ 0 ~ 1200 (pixel)	入力映像の垂直方向の位置を調整します。
	FLIP VERTICAL (*7)	OFF , ON	[ON] に設定すると、入力映像が上下反転します。
	BRIGHTNESS	-64 ~ 0 ~ 63	入力映像の明るさを調整します。
	CONTRAST	-64 ~ 0 ~ 63	入力映像のコントラストを調整します。
	SATURATION	-64 ~ 0 ~ 63	入力映像の彩度を調整します。
	RED	-64 ~ 0 ~ 63	入力映像の赤レベルを調整します。
	GREEN	-64 ~ 0 ~ 63	入力映像の緑レベルを調整します。
	BLUE	-64 ~ 0 ~ 63	入力映像の青レベルを調整します。
	FREQUENCY (*3)	-128 ~ 0 ~ 127	入力周波数を調整します。
	PHASE (*3)	-128 ~ 0 ~ 127	入力映像の位相を調整します。

(*1) : [SHARE] は、INPUT-2 ~ 8 で設定できます。設定するチャンネルに対して、1 つ前のチャンネルの映像ソースを共有できます。詳しくは、『取扱説明書』の「映像ソースを共有する (SHARE)」 (P.15) をご覧ください。

(*2) : [INPUT SELECT] が [HDMI] のときのみ設定できます。

(*3) : [INPUT SELECT] が [RGB/COMPONENT] のときのみ設定できます。

(*4) : クロス・ポイントで該当の映像入力チャンネルが選ばれているときのみ実行できます。

(*5) : [INPUT SELECT] が [HDMI] [RGB/COMPONENT] のときのみ設定できます。

(*6) : 以下の設定のとき、入力サイズ以下には縮小できません。

- ・ [MODE] が [ROTATION-L1] ~ [ROTATION-L4] または [ROTATION-R1] ~ [ROTATION-R4] のとき
- ・ [INPUT SELECT] が [STILL1] ~ [STILL4] のとき

(*7) : [INPUT SELECT] が [STILL1] ~ [STILL4] のとき、上下反転できません。

VIDEO OUTPUT

※ 入力/出力フォーマットによって、設定範囲が変化します。また、設定値を変更しても映像に変化がない場合があります。

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
OUTPUT-1 : OUTPUT-4 ※ 機種により異なります。	OUTPUT SELECT	AUTO 、HDMI、HDBaseT	映像を出力する OUTPUT 端子を設定します。
	RESOLUTION (*8) (*9)	<ul style="list-style-type: none"> • [SYSTEM] の [FRAME RATE] が [59.94Hz] のとき 480i 4:3、480i 16:9、480p 4:3、480p 16:9、 720/59.94p、1080/59.94i、1080/59.94p、 640×480/60、800×600/60、1024×768/60、 1280×768/60、1366×768/60、1280×1024/60、 1600×1200/60、1920×1200/60 • [SYSTEM] の [FRAME RATE] が [50Hz] のとき 576i 4:3、576i 16:9、576p 4:3、576p 16:9、 720/50p、1080/50i、1080/50p、640×480/75、 800×600/75、1024×768/75、1280×768/75、 1366×768/75、1280×1024/75、1600×1200/60、 1920×1200/60 	出力解像度を設定します。
	HDCP OUTPUT ENABLE	DISABLE、 ENABLE	著作権保護 (HDCP) のかかっている映像の出力を許可する/しないを設定します (P.17)。
	COLOR SPACE	AUTO 、RGB (0-255)、RGB (16-235)、YCC (444)、YCC (422)	出力映像のカラー・スペースを設定します。
	DVI-D/HDMI SIGNAL	DVI-D、 HDMI	HDMI OUTPUT 端子から出力するビデオ信号の種類を設定します。
	FLIP HORIZONTAL	OFF 、ON	[ON] に設定すると、出力映像が左右反転します。
	ZOOM (*8) (*10)	10% ~ 100% ~ 1000%	出力映像の縮小/拡大率を調整します。
	MANUAL SIZE H (*8)	-4096 ~ 0 ~ 4096 (pixel)	出力映像の水平方向のサイズを調整します。
	MANUAL SIZE V (*8)	-1920 ~ 0 ~ 1920 (pixel)	出力映像の垂直方向のサイズを調整します。
	POSITION H (*8)	-4096 ~ 0 ~ 4096 (pixel)	出力映像の水平方向の位置を調整します。
	POSITION V (*8)	-1200 ~ 0 ~ 1200 (pixel)	出力映像の垂直方向の位置を調整します。
	CROPPING ORIENT (*8)	UPPER LEFT 、UPPER RIGHT、LOWER LEFT、LOWER RIGHT、CENTER	クロッピングの基準点を設定します。
	CROPPING TYPE (*8)	FULL 、4:3、5:4、16:9、MANUAL	クロッピングのタイプを設定します。
	CROPPING SIZE H (*8) (*11)	10 ~ 128 ~ 2000 (pixel)	水平方向のクロッピング幅を調整します。
	CROPPING SIZE V (*8) (*11)	10 ~ 128 ~ 2000 (pixel)	垂直方向のクロッピング幅を調整します。
	BRIGHTNESS	-128 ~ 0 ~ 127	出力映像の明るさを調整します。
	CONTRAST	-128 ~ 0 ~ 127	出力映像のコントラストを調整します。
	SATURATION	-128 ~ 0 ~ 127	出力映像の彩度を調整します。
	RED	-128 ~ 0 ~ 127	出力映像の赤レベルを調整します。
	GREEN	-128 ~ 0 ~ 127	出力映像の緑レベルを調整します。
	BLUE	-128 ~ 0 ~ 127	出力映像の青レベルを調整します。

(*8) : [MODE] の設定が下記のとおり、OUTPUT-2 ~ OUTPUT-4 の設定は、OUTPUT-1 の設定と共通になります。個別に変更できません。

MODE	OUTPUT-2	OUTPUT-3	OUTPUT-4
MULTI-2	OUTPUT-1 の設定と共通	個別に設定可能	個別に設定可能
MULTI-3	OUTPUT-1 の設定と共通	OUTPUT-1 の設定と共通	個別に設定可能
MULTI-4	OUTPUT-1 の設定と共通	OUTPUT-1 の設定と共通	OUTPUT-1 の設定と共通

(*9) : [MODE] の設定が下記のとおり、OUTPUT-2 ~ OUTPUT-4 の設定は、OUTPUT-1 の設定と共通になります。個別に変更できません。

MODE	OUTPUT-2	OUTPUT-3	OUTPUT-4
SPAN-2	OUTPUT-1 の設定と共通	個別に設定可能	個別に設定可能
SPAN-3	OUTPUT-1 の設定と共通	OUTPUT-1 の設定と共通	個別に設定可能
SPAN-4、ROTATION-L1 ~ 4、ROTATION-R1 ~ 4、4K-1、4K-2	OUTPUT-1 の設定と共通	OUTPUT-1 の設定と共通	OUTPUT-1 の設定と共通

(*10) : 以下の設定のとき、入力サイズ以下には縮小できません。

- [MODE] が [ROTATION-L1] ~ [ROTATION-L4] または [ROTATION-R1] ~ [ROTATION-R4] のとき
- [VIDEO INPUT] の [INPUT SELECT] が [STILL1] ~ [STILL4] のとき

(*11) : [VIDEO OUTPUT] の [CROPPING TYPE] が [MANUAL] のとき、有効です。

VIDEO OUTPUT (つづき)

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
OUTPUT-1 : OUTPUT-4 ※機種により異なります。	GUIDE COLOR (*12)	OFF , WHITE, YELLOW, CYAN, GREEN, MAZENDA, RED, BLUE	ガイドの表示 (色の選択) / 非表示 (OFF) を切り替えます。色を選ぶと、映像の有効範囲を示すガイドを出力画面に表示します。ガイドの内側が有効範囲となります。
	GUIDE SIZE (*12)	10 ~ 90 ~ 100	ガイドのサイズを設定します。
	GUIDE WIDTH (*12)	1 ~ 2 ~ 100	ガイドの枠線の太さを設定します。
	OUTPUT1 SYNC (*13)	OFF , ON	「ON」に設定すると、出力モードの切り替え時に出力映像が途切れがなくなります。 ※「OUTPUT1 SYNC」を「ON」に設定している出力チャンネルは、OUTPUT1と同じ出力解像度になります。 ※出力モードを ROTATION モードに切り替えたととき、出力映像は途切れませんが、一瞬だけ映像が乱れます。
	TEST PATTERN	OFF , 75%.COLOR.BAR, 100%.COLOR.BAR, RAMP, STEP, HATCH, 75%COLORBAR-SP, 100%COLORBAR-SP, RAMP-SP, STEP-SP, HATCH-SP, FRAME	テスト・パターンを出力します。

(*12): ガイドが表示されるのは、下表で「設定可能」と記載されている組み合わせのみとなります。

MODE	OUTPUT-1	OUTPUT-2	OUTPUT-3	OUTPUT-4
MATRIX	設定可能	設定可能	設定可能	設定可能
MULTI-2, SPAN-2	—	—	設定可能	設定可能
MULTI-3, SPAN-3	—	—	—	設定可能
DISSOLVE-1	—	設定可能	設定可能	—
PGM-PST	—	設定可能	設定可能	設定可能
MULTI-4, SPAN-4, 4K-1, 4K-2, ROTATION-L1~4, ROTATION-R1~4	—	—	—	—

※ 静止画を出力しているとき、ガイドは表示されません。

(*13): 「OUTPUT1 SYNC」は、OUTPUT-2 ~ 4 で設定できます。

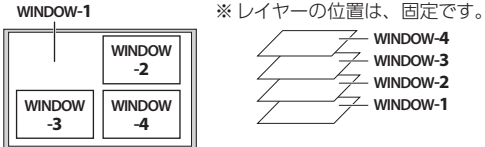
TRANSITION

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
TIME	—	0.0sec ~ 1.0sec ~ 10.0sec	映像が切り替わる時間 / フェード時間を調整します。

OFF SWITCH

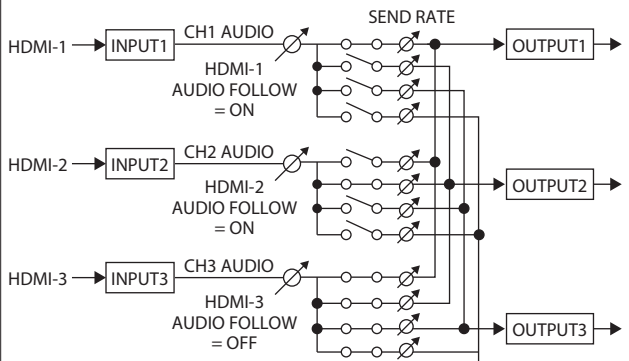
メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
RED	—	0 ~ 255	フェード時の単色映像の赤レベルを調整します。
GREEN	—	0 ~ 255	フェード時の単色映像の緑レベルを調整します。
BLUE	—	0 ~ 255	フェード時の単色映像の青レベルを調整します。
AUDIO FOLLOW	—	OFF, ON	オーディオ・フォロー機能のオン / オフを設定します。

MULTI (*14)

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
WINDOW-1 : WINDOW-4	SOURCE CH (*15)	CH1 ~ CH8	映像合成時、各ウィンドウに表示する映像入力チャンネルを設定します。 
	SIZE	10% ~ 100%	ウィンドウのサイズを調整します。
	POSITION H	-100% ~ 100% ※ [WINDOW-1] ~ [WINDOW-4] で初期値が異なります。	ウィンドウの水平方向の位置を調整します。
	POSITION V	-100% ~ 100%	ウィンドウの垂直方向の位置を調整します。
	CROPPING TYPE	ORIGINAL、4:3、5:4、16:9、MANUAL	ウィンドウをクロッピングするときのタイプを選びます。
	MANUAL H (*16)	-2000 ~ 0 ~ 2000	水平方向のクロッピング幅を設定します。
	MANUAL V (*16)	-2000 ~ 0 ~ 2000	垂直方向のクロッピング幅を設定します。
	ZOOM	100% ~ 1000%	映像の拡大率を調整します。
	ZOOM POSITION H	-1920 ~ 0 ~ 1920	映像の水平方向の表示位置を調整します。
	ZOOM POSITION V	-1920 ~ 0 ~ 1920	映像の垂直方向の表示位置を調整します。
	OUTPUT1 SW : OUTPUT4 SW	OFF、ON ※ 機種により異なります。	出力チャンネルごとにウィンドウの表示 (ON) / 非表示 (OFF) を設定します。 ※ 出力チャンネルごとに、ウィンドウのサイズや位置を調整することはできません。

(*14) : [MODE] が [MULTI-2] ~ [MULTI-4] のとき、有効です。
 (*15) : [SOURCE CH] の設定は、マルチ・ビュー出力されている WINDOW のみ変更できます。たとえば、[MODE] が [MULTI-2] のときは、WINDOW-1 と WINDOW-2 のみ変更できます。
 (*16) : [MULTI] の [CROPPING TYPE] が [MANUAL] のとき、有効です。

AUDIO INPUT

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
HDMI-1 : HDMI-8 ANALOG-1 : ANALOG-8	INPUT LEVEL	0 (-INF dB) ~ 100 (0.0dB) ~ 127 (+6.0dB)	入力音声の音量を調整します。
	INPUT MUTE	OFF、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。[ON] に設定された入力音声を消音します。
	AUDIO FOLLOW	OFF、ON	オーディオ・フォロー機能のオン/オフを設定します。 ON: 選んだ音声が入力された出力チャンネルへ送られます。 OFF: 音声はすべての出力チャンネルに送られます。(*17) 

(*17) : 著作権保護 (HDCP) のかかっている映像を出力しているときに [AUDIO FOLLOW] を [OFF] に設定すると、他チャンネルの音声が入力されない場合があります。詳しくは、「著作権保護 (HDCP) のかかっている映像を扱うときのご注意」 (P.17) をご覧ください。

AUDIO INPUT (つづき)

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
ANALOG-1 ANALOG-2	PHANTOM POWER	OFF, ON	ファンタム電源のオン/オフを設定します (Rチャンネルのみ)。
	INPUT GAIN	0dB ~ 64dB	入力感度を調整します (Rチャンネルのみ)。
	MONO INPUT	OFF, ON	「ON」に設定すると、モノラル入力になります。
ANALOG-1 : ANALOG-8	HPF	OFF, ON	ハイ・パス・フィルターのオン/オフを設定します。「ON」に設定すると、高域はそのまま通り、低域が減衰します。
HDMI-1 : HDMI-8 ANALOG-1 : ANALOG-8	4BAND EQUALIZER	OFF, ON	イコライザーのオン/オフを設定します。
	HIGH GAIN	-15dB ~ 0dB ~ 15dB	高域を増幅/減衰します。
	HIGH FREQ	600Hz ~ 8.00kHz ~ 12.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
	HI-MID GAIN	-15dB ~ 0dB ~ 15dB	中高域を増幅/減衰します。
	HI-MID FREQ	20.0Hz ~ 2.50kHz ~ 10.0kHz	中高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
	HI-MID Q	0.50 ~ 1.00 ~ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調整します。
	LOW-MID GAIN	-15dB ~ 0dB ~ 15dB	中低域を増幅/減衰します。
	LOW-MID FREQ	20.0Hz ~ 2.50kHz ~ 10.0kHz	中低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
	LOW-MID Q	0.50 ~ 1.00 ~ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調整します。
	LOW GAIN	-15dB ~ 0dB ~ 15dB	低域を増幅/減衰します。
	LOW FREQ	50.0Hz ~ 112Hz ~ 800Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
	GATE	OFF, ON	ゲートのオン/オフを設定します。
	THRESHOLD	-50dB ~ -48dB ~ 0dB	音声を除去するときの、基準となるレベルを設定します。スレッシュホールド・レベルに満たない音声を除去します。
	RELEASE	30ms ~ 500ms ~ 5000ms	音声がスレッシュホールドを下回ったあと、ゲートの効果がなくなるまでの時間を調整します。
	COMPRESSOR/ DUCKING	OFF, COMPRESSOR, DUCKING	コンプレッサーまたはダッキングのオン/オフを設定します。
	THRESHOLD	-50dB ~ -16dB ~ 0dB	音声を圧縮 (コンプレッサー) または減衰 (ダッキング) するときの基準となるレベルを設定します。 コンプレッサー: スレッシュホールド・レベルを超えた音声に対して圧縮をかけていきます。 ダッキング: スレッシュホールド・レベルを超えた音声を減衰します。
	COMP-RATIO	1.0:1, 1.2:1, 1.5:1, 2.0:1, 2.8:1 , 4.0:1, 8.0:1, 16:1, INF:1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるか設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
	COMP-ATTACK	0.2ms ~ 50ms ~ 100ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されてから、圧縮の効果が最大になるまでの時間を設定します。
	COMP-KNEE	HARD , SOFT1 ~ SOFT9	スレッシュホールド・レベル付近でのコンプレッサーのかかり具合を、急激 (HARD) から緩やか (SOFT9) の範囲で調整します。
COMP-RELEASE	30ms ~ 500ms ~ 5000ms	音声がスレッシュホールドを下回ったあと、圧縮をやめるまでの時間を調整します。	
DUCK-KEY IN SELECT	HDMI INPUT1 ~ 8, ANALOG INPUT1 ~ 8 ※入力チャンネルにより初期値が異なります。	キー・イン信号とするチャンネルを設定します。	
DUCK-ATTACK	0.2ms ~ 50ms ~ 100ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されてから、ダッキングの効果が最大になるまでの時間を設定します。	
DUCK-RELEASE	30ms ~ 500ms ~ 5000ms	「DUCK-HOLD」で設定した時間を経過したあと、ダッキングの効果がなくなるまでの時間を調整します。	
DUCK-HOLD	0ms ~ 250ms ~ 5000ms	音声がスレッシュホールドを下回ったあと、ダッキングの効果がなくなり始めるまでの時間を調整します。	
OUT1 SEND RATE : OUT4 SEND RATE ※機種により異なります。	0%~ 100%	各出力チャンネルへの音声の送り量を設定します。	

AUDIO OUTPUT

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
OUTPUT-1 : OUTPUT-4 ※機種により異なります。	OUTPUT LEVEL	0 (-INF dB) ~ 100 (0.0dB) ~ 127 (+6.0dB)	出力音声の音量を調整します。
	OUTPUT MUTE	OFF , ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」に設定された出力音声を消音します。
	OUTPUT DELAY	0ms ~ 60ms ~ 170ms	出力音声の遅延時間を調整します。
	HDMI AUDIO CH	2ch, 5.1ch, 7.1ch	HDMI OUTPUT 端子から出力するオーディオのチャンネル数を設定します。
	DOWN MIX	OFF , STEREO > MONO, 5.1ch > STEREO, 5.1ch > MONO	ダウン・ミックスのオン/オフを設定します。 STEREO > MONO: ステレオの音声をダウン・ミックスし、モノラルで出力します。 5.1ch > STEREO: 5.1チャンネルの音声をダウン・ミックスし、ステレオで出力します。 5.1ch > MONO: 5.1チャンネルの音声をダウン・ミックスし、モノラルで出力します。
	4BAND EQUALIZER	OFF , ON	イコライザーのオン/オフを設定します。
	HIGH GAIN	-15dB ~ 0dB ~ 15dB	高域を増幅/減衰します。
	HIGH FREQ	600Hz ~ 8.00kHz ~ 12.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
	HI-MID GAIN	-15dB ~ 0dB ~ 15dB	中高域を増幅/減衰します。
	HI-MID FREQ	20.0Hz ~ 2.50kHz ~ 10.0kHz	中高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
	HI-MID Q	0.50 ~ 1.00 ~ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調整します。
	LOW-MID GAIN	-15dB ~ 0dB ~ 15dB	中低域を増幅/減衰します。
	LOW-MID FREQ	20.0Hz ~ 2.50kHz ~ 10.0kHz	中低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
	LOW-MID Q	0.50 ~ 1.00 ~ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調整します。
	LOW GAIN	-15dB ~ 0dB ~ 15dB	低域を増幅/減衰します。
	LOW FREQ	50.0Hz ~ 112Hz ~ 800Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
	GATE/COMPRESSOR	OFF , GATE, COMPRESSOR	ゲートまたはコンプレッサーのオン/オフを設定します。
	GATE-THRESHOLD	-50dB ~ -48dB ~ 0dB	音声を除去するときの、基準となるレベルを設定します。スレッシュホールド・レベルに満たない音声を除去します。
	GATE-RELEASE	30ms ~ 500ms ~ 5000ms	音声がスレッシュホールドを下回ったあと、ゲートの効果がなくなるまでの時間を調整します。
	COMP-THRESHOLD	-50dB ~ -16dB ~ 0dB	音声を圧縮するときの基準となるレベルを設定します。スレッシュホールド・レベルを超えた音声に対して圧縮をかけていきます。
	COMP-RAITO	1.0:1, 1.2:1, 1.5:1, 2.0:1, 2.8:1 , 4.0:1, 8.0:1, 16:1, INF:1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるか設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
	COMP-ATTACK	0.2ms ~ 50ms ~ 100ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されてから、圧縮の効果が最大になるまでの時間を設定します。
	COMP-KNEE	HARD , SOFT1 ~ SOFT9	スレッシュホールド・レベル付近でのコンプレッサーのかかり具合を、急激 (HARD) から緩やか (SOFT9) の範囲で調整します。
	COMP-RELEASE	30ms ~ 500ms ~ 5000ms	音声がスレッシュホールドを下回ったあと、圧縮をやめるまでの時間を調整します。
	TEST TONE	OFF , ON	「ON」に設定すると、テストトーンを出力します。テストトーンは、1kHz(+4dBu) 固定です。

AUDIO CONTROL

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第 2 階層	第 3 階層		
FADER 1	—	HDMI INPUT1 ~ 8、 ANALOG INPUT1 ~ 8	音声ボリューム・コントロール画面のオーディオ・フェーダー 1 ~ 8 にアサインする音声入力チャンネルを設定します。
FADER 2	—	HDMI INPUT1 ~ HDMI INPUT2 ~ 8、 ANALOG INPUT1 ~ 8	
FADER 3	—	HDMI INPUT1 ~ HDMI INPUT3 ~ 8、 ANALOG INPUT1 ~ 8	
FADER 4	—	HDMI INPUT1 ~ HDMI INPUT4 ~ 8、 ANALOG INPUT1 ~ 8	
FADER 5	—	HDMI INPUT1 ~ HDMI INPUT5 ~ 8、 ANALOG INPUT1 ~ 8	
FADER 6	—	HDMI INPUT1 ~ HDMI INPUT6 ~ 8、 ANALOG INPUT1 ~ 8	
FADER 7	—	HDMI INPUT1 ~ HDMI INPUT7 ~ 8、 ANALOG INPUT1 ~ 8	
FADER 8	—	HDMI INPUT1 ~ HDMI INPUT8 、 ANALOG INPUT1 ~ 8	
OUTPUT FADER	—	ALL 、OUTPUT1 ~ 4	音声ボリューム・コントロール画面のアウトプット・フェーダーにアサインする音声出力チャンネルを設定します。「ALL」に設定すると、すべての音声出力チャンネルの音声を同時に調整することができます。

MODE

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第 2 階層	第 3 階層		
MODE	—	MATRIX 、MULTI-2、MULTI-3、MULTI-4、SPAN-2、 SPAN-3 (*18)、SPAN-4 (*19)、ROTATION-L1、 ROTATION-L2、ROTATION-L3 (*18)、ROTATION-L4 (*19)、ROTATION-R1、ROTATION-R2、ROTATION-R3 (*18)、ROTATION-R4 (*19)、4K-1 (*18)、4K-2 (*19)、 DISSOLVE-1、PGM-PST	映像の出力モードを設定します。 ※ [VIDEO OUTPUT] の [OUTPUT1 SYNC] を [ON] に設定している出力チャンネルは、モード切り替え時に出力映像が途切れません。 ※ 各出力モードの出力イメージは、『取扱説明書』の「映像の出力モードを切り替える」(P.18) をご覧ください。

(*18) : XS-83H/XS-84H のみ。

(*19) : XS-84H のみ。

PRESET MEMORY

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明																																				
第 2 階層	第 3 階層																																						
LOAD SETTING	—	1 ~ 32	指定したプリセット番号の設定を呼び出します。																																				
RECALL SAFE	—	OFF 、ON	[ON] に設定すると、プリセットから指定した設定だけを呼び出します。 [ON] に設定して [VALUE] つまみを押すと、「RECALL SAFE」ポップアップが表示されます。下記の項目ごとに設定を呼び出す (OFF) / 呼び出さない (ON) を指定します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>VIDEO INPUT</td> <td>OFF、ON</td> <td>映像入力の設定、入力の EDID 割り当ての設定</td> </tr> <tr> <td>VIDEO OUTPUT</td> <td>OFF、ON</td> <td>映像出力の設定</td> </tr> <tr> <td>OUT RESOLUTION</td> <td>OFF、ON</td> <td>出力解像度の設定</td> </tr> <tr> <td>TRANSITION</td> <td>OFF、ON</td> <td>映像の切り替わり時間 / フェード時間の設定</td> </tr> <tr> <td>OFF SWITCH</td> <td>OFF、ON</td> <td>[OFF] ボタンの設定</td> </tr> <tr> <td>MULTI</td> <td>OFF、ON</td> <td>マルチ・ビューの設定</td> </tr> <tr> <td>AUDIO INPUT</td> <td>OFF、ON</td> <td>音声入力の設定</td> </tr> <tr> <td>AUDIO OUTPUT</td> <td>OFF、ON</td> <td>音声出力の設定</td> </tr> <tr> <td>AUDIO CONTROL</td> <td>OFF、ON</td> <td>音声ボリューム・コントロール画面のフェーダー・アサインの設定</td> </tr> <tr> <td>MODE</td> <td>OFF、ON</td> <td>出力モードの設定</td> </tr> <tr> <td>CROSSPOINT</td> <td>OFF、ON</td> <td>クロス・ポイント選択ボタンの設定</td> </tr> </tbody> </table>	設定項目	設定値	説明	VIDEO INPUT	OFF 、ON	映像入力の設定、入力の EDID 割り当ての設定	VIDEO OUTPUT	OFF 、ON	映像出力の設定	OUT RESOLUTION	OFF 、ON	出力解像度の設定	TRANSITION	OFF 、ON	映像の切り替わり時間 / フェード時間の設定	OFF SWITCH	OFF 、ON	[OFF] ボタンの設定	MULTI	OFF 、ON	マルチ・ビューの設定	AUDIO INPUT	OFF 、ON	音声入力の設定	AUDIO OUTPUT	OFF 、ON	音声出力の設定	AUDIO CONTROL	OFF 、ON	音声ボリューム・コントロール画面のフェーダー・アサインの設定	MODE	OFF 、ON	出力モードの設定	CROSSPOINT	OFF 、ON	クロス・ポイント選択ボタンの設定
設定項目	設定値	説明																																					
VIDEO INPUT	OFF 、ON	映像入力の設定、入力の EDID 割り当ての設定																																					
VIDEO OUTPUT	OFF 、ON	映像出力の設定																																					
OUT RESOLUTION	OFF 、ON	出力解像度の設定																																					
TRANSITION	OFF 、ON	映像の切り替わり時間 / フェード時間の設定																																					
OFF SWITCH	OFF 、ON	[OFF] ボタンの設定																																					
MULTI	OFF 、ON	マルチ・ビューの設定																																					
AUDIO INPUT	OFF 、ON	音声入力の設定																																					
AUDIO OUTPUT	OFF 、ON	音声出力の設定																																					
AUDIO CONTROL	OFF 、ON	音声ボリューム・コントロール画面のフェーダー・アサインの設定																																					
MODE	OFF 、ON	出力モードの設定																																					
CROSSPOINT	OFF 、ON	クロス・ポイント選択ボタンの設定																																					
SAVE SETTING	—	1 ~ 32	指定したプリセット番号に設定を保存します。																																				
DELETE SETTING	—	1 ~ 32	指定したプリセット番号の設定を削除します。																																				

EDID

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第2階層	第3階層		
HDMI EDID IN-1 : HDMI EDID IN-8	—	<ul style="list-style-type: none"> • [SYSTEM] の [FRAME RATE] が [59.94Hz] のとき INTERNAL. 640×480、800×600、1024×768、1280×768、1366×768、1280×1024、1400×1050、1600×1200、1920×1200、DATA1～8 (*20)、480i 4:3、480i 16:9、480p 4:3、480p 16:9、720p、1080i、1080p • [SYSTEM] の [FRAME RATE] が [50Hz] のとき INTERNAL. 640×480、800×600、1024×768、1280×768、1366×768、1280×1024、1400×1050、1600×1200、1920×1200、DATA1～8 (*20)、576i 4:3、576i 16:9、576p 4:3、576p 16:9、720p、1080i、1080p 	HDMI INPUT 側の EDID を設定します。 INTERNAL : パソコン用入力解像度とビデオ用入力解像度の情報を送信します (下表参照)。 DATA1～8 : [HDMI EDID COPY] でコピーした EDID 情報を送信します (下表参照)。 ※ 設定の変更後 [VALUE] つまみを押すと、変更を確認するポップアップが表示されます。[VALUE] つまみを押すと、設定の変更が確定します。 ※ オーディオのサポート・フォーマットは、[INTERNAL] ～ [1920×1200] で共通です。詳しくは、下表をご覧ください。
RGB EDID IN-1 : RGB EDID IN-8	—	INTERNAL . 640×480、800×600、1024×768、1280×768、1366×768、1280×1024、1400×1050、1600×1200、1920×1200	RGB INPUT 側の EDID を設定します。 INTERNAL : パソコン用入力解像度の情報を送信します (下表参照)。 ※ 設定の変更後 [VALUE] つまみを押すと、変更を確認するポップアップが表示されます。[VALUE] つまみを押すと、設定の変更が確定します。
EDID COPY OUTPUT	—	OUTPUT1 ～ 4 ※機種により異なります。	EDID をコピーする HDMI OUTPUT 端子を選びます。
HDMI EDID COPY	—	DATA1 ～ 8	コピー先 (DATA1～8) を指定して、[VALUE] つまみを押すと、[HDMI EDID COPY] ポップアップが表示されます。 [EDIT COPY OUTPUT] で選んだ HDMI OUTPUT 端子に接続しているディスプレイの EDID をコピーします。

(*20) : [DATA1～8] の設定は、プリセットごとに保存されません。本体に1セットだけ保存されます。メニュー項目の設定後、メニューを閉じるタイミングで、本機の内蔵メモリーに保存されます。

[INTERNAL] 設定時の送信データ

● フレーム・レート [59.94Hz] 設定時

パソコン用入力解像度			
640×480/60Hz (VGA)	800×600/60Hz (SVGA)	1024×768/60Hz (XGA)	1280×800/60Hz (WXGA)
1280×1024/60Hz (SXGA)	1400×1050/60Hz (SXGA+)	1600×1200/60Hz (UXGA)	1920×1200/60Hz (Reduced Blanking) (WUXGA)
1280×768/60Hz (WXGA)	1366×768/60Hz (FWXGA)	1920×1080/59.94p、60p	1920×1080/59.94i
ビデオ用入力解像度			
1920×1080/59.94p、60p (16:9) [Native]	1920×1080/50p (16:9)	1920×1080/59.94i、60i (16:9)	1920×1080/50i (16:9)
1280×720/59.94p、60p (16:9)	1280×720/50p (16:9)	720×480/59.94p、60p (16:9)	720×480/59.94p、60p (4:3)
720×576/50p (16:9)	720×576/50p (4:3)	720×480/59.94i (16:9)	720×480/59.94i (4:3)
720×576/50i (16:9)	720×576/50i (4:3)		

● フレーム・レート [50Hz] 設定時

パソコン用入力解像度			
640×480/60Hz (VGA)	640×480/75Hz (VGA)	800×600/60Hz (SVGA)	800×600/75Hz (SVGA)
1024×768/60Hz (XGA)	1024×768/75Hz (XGA)	1280×800/60Hz (WXGA)	1280×800/75Hz (WXGA)
1280×1024/60Hz (SXGA)	1280×1024/75Hz (SXGA)	1400×1050/60Hz (SXGA+)	1400×1050/75Hz (SXGA+)
1600×1200/60Hz (UXGA)	1920×1200/60Hz (Reduced Blanking) (WUXGA)	1280×768/60Hz (WXGA)	1366×768/60Hz (FWXGA)
1920×1080/59.94p、60p	1920×1080/59.94i		
ビデオ用入力解像度			
1920×1080/59.94p、60p (16:9)	1920×1080/50p (16:9) [Native]	1920×1080/59.94i、60i (16:9)	1920×1080/50i (16:9)
1280×720/59.94p、60p (16:9)	1280×720/50p (16:9)	720×480/59.94p、60p (16:9)	720×480/59.94p、60p (4:3)
720×576/50p (16:9)	720×576/50p (4:3)	720×480/59.94i (16:9)	720×480/59.94i (4:3)
720×576/50i (16:9)	720×576/50i (4:3)		

● オーディオのサポート・フォーマット

リニア PCM / 48kHz / 24bit / 8ch

※ スピーカー構成は、下記のとおりです。

- Front Left/Front Right
- Front Center
- Rear Left/Rear Right
- Rear Left Center/Rear Right Center
- LFE

※ 以下のメニュー項目の設定は、プリセットごとに保存されません。本体に 1 セットだけ保存されます。メニュー項目の設定後、メニューを閉じるタイミングで、本機の内蔵メモリーに保存されます。

RS-232C

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第 2 階層	第 3 階層		
BAUD RATE	—	9600 , 38400	RS-232C 端子の通信速度 (bps) を設定します。
FUNCTION	—	RECEIVER , HDBaseT1、 HDBaseT2、HDBaseT3、 HDBaseT4 ※機種により異なります。	RS-232C 端子の機能を設定します。 RECEIVER: RS-232C でコマンドを受信し、リモート・コントロールされます。 HDBaseT1 ~ 4: RS-232C で送受信したコマンドを指定した HDBaseT 端子からそのまま送受信し ず。本機はリモート・コントロールされません。

LAN

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第 2 階層	第 3 階層		
CONFIGURE	—	USING DHCP , MANUALLY	IP アドレスの自動取得 (DHCP) / 手動設定 (MANUALLY) を設定します。
IP ADDRESS (*21)	—	192.168.2.254	IP アドレスを設定します。 ※ サブネット・マスクは、「255.255.255.0」固定です。
INFORMATION	—	(ENTER)	[VALUE] つまみを押すと、「LAN INFORMATION」ポップアップが表示されます。 LAN の設定情報を表示します (P.18)。

(*21) : 「CONFIGURE」が「MANUALLY」のとき、有効です。

WIRELESS LAN

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第 2 階層	第 3 階層		
ACCESS POINT	—	(ENTER)	[VALUE] つまみを押すと、「ACCESS POINT」ポップアップが表示されます。 無線 LAN アクセス・ポイントの一覧から接続する無線 LAN 親機を選びます。
WPS	—	(ENTER)	[VALUE] つまみを押すと、「WPS」ポップアップが表示されます。 無線 LAN 親機に WPS による接続を実行します。
AD-HOC MODE	—	OFF , ON	AD-HOC モードのオン/オフを設定します。
AD-HOC CH	—	1 ~ 11	AD-HOC モードのチャンネルを設定します。
WIRELESS ID	—	0 ~ 99	ワイヤレス ID を設定します。 ※ 「WIRELESS ID」は、LAN と無線 LAN で共通の設定です。
INFORMATION	—	(ENTER)	[VALUE] つまみを押すと、「WLAN INFORMATION」ポップアップが表示されます。 無線 LAN の設定情報を表示します (P.16)。

USB MEMORY

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明
第 2 階層	第 3 階層		
LOAD PRESET	—	(ENTER)	[VALUE] つまみを押すと、「LOAD PRESET」ポップアップが表示されます。 USB メモリーに保存した設定ファイルを本体に読み込みます。
SAVE PRESET	—	(ENTER)	[VALUE] つまみを押すと、「SAVE PRESET」ポップアップが表示されます。 USB メモリーに保存されている設定ファイルに対して、上書き保存します。
SAVE AS PRESET	—	(ENTER)	[VALUE] つまみを押すと、「SAVE AS PRESET」ポップアップが表示されます。 名前を付けて設定ファイルを USB メモリーに保存します。
LOAD STILL IMAGE	—	1 ~ 4	静止画の保存先 1 ~ 4 を選んで [VALUE] つまみを押すと、「LOAD STILL IMAGE」 ポップアップが表示されます。 ポップアップからファイルを選び、静止画を本体に読み込みます。
FORMAT	—	(ENTER)	USB メモリーをフォーマットします。

※ 以下のメニュー項目の設定は、プリセットごとに保存されません。本体に 1 セットだけ保存されます。メニュー項目の設定後、メニューを閉じるタイミングで、本機の内蔵メモリーに保存されます。

SYSTEM

メニュー項目		設定値 (太字は初期値)	説明																								
第 2 階層	第 3 階層																										
FRAME RATE	—	59.94Hz、50Hz	システム・クロックを設定します。																								
FIELD SYNC	—	OFF、 ON	フィールド・シンクのオン/オフを設定します。																								
KEY LOCK MODE	—	(ENTER)	<p>[VALUE] つまみを押すと、「KEY LOCK MODE」ポップアップが表示されます。下記のボタンごとに、キー・ロックの対象 (ON) / 非対象 (OFF) を設定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CROSSPOINT</td> <td>OFF、ON</td> <td>クロス・ポイント選択ボタン</td> </tr> <tr> <td>SWITCH MODE</td> <td>OFF、ON</td> <td>[SWITCHING MODE] ボタン</td> </tr> <tr> <td>MENU+EXIT</td> <td>OFF、ON</td> <td>[MENU] ボタン、[EXIT] ボタン</td> </tr> <tr> <td>CURSOR+VALUE</td> <td>OFF、ON</td> <td>カーソル・ボタン、[VALUE] ボタン</td> </tr> <tr> <td>CROSS-NOINPUT</td> <td>OFF、ON</td> <td>信号が入力されていないクロス・ポイント選択ボタン</td> </tr> <tr> <td>CROSS-OFF</td> <td>OFF、ON</td> <td>[OFF] ボタン</td> </tr> <tr> <td>CROSS-OUTPUT1 : CROSS-OUTPUT4 ※機種により異なります。</td> <td>OFF、ON</td> <td>各OUTPUT列のクロス・ポイント選択ボタン</td> </tr> </tbody> </table> <p>《操作》キー・ロック・モードをオン/オフする 1. [KEY LOCK MODE] で、ボタン操作を無効にしたい項目を [ON] に設定する。 2. [EXIT] ボタンを押しながら、[MENU] ボタンを長押し (3 秒以上) する。[KEY LOCKED!!] と表示され、キー・ロック・モードがオンになります。手順 1 で設定したボタンがロックされます。 もう一度、[EXIT] ボタンを押しながら、[MENU] ボタンを長押し (3 秒以上) すると、[KEY RELEASED!!] と表示され、キー・ロック・モードがオフになります。</p>	設定項目	設定値	説明	CROSSPOINT	OFF 、ON	クロス・ポイント選択ボタン	SWITCH MODE	OFF 、ON	[SWITCHING MODE] ボタン	MENU+EXIT	OFF 、ON	[MENU] ボタン、[EXIT] ボタン	CURSOR+VALUE	OFF 、ON	カーソル・ボタン、[VALUE] ボタン	CROSS-NOINPUT	OFF 、ON	信号が入力されていないクロス・ポイント選択ボタン	CROSS-OFF	OFF 、ON	[OFF] ボタン	CROSS-OUTPUT1 : CROSS-OUTPUT4 ※機種により異なります。	OFF 、ON	各OUTPUT列のクロス・ポイント選択ボタン
設定項目	設定値	説明																									
CROSSPOINT	OFF 、ON	クロス・ポイント選択ボタン																									
SWITCH MODE	OFF 、ON	[SWITCHING MODE] ボタン																									
MENU+EXIT	OFF 、ON	[MENU] ボタン、[EXIT] ボタン																									
CURSOR+VALUE	OFF 、ON	カーソル・ボタン、[VALUE] ボタン																									
CROSS-NOINPUT	OFF 、ON	信号が入力されていないクロス・ポイント選択ボタン																									
CROSS-OFF	OFF 、ON	[OFF] ボタン																									
CROSS-OUTPUT1 : CROSS-OUTPUT4 ※機種により異なります。	OFF 、ON	各OUTPUT列のクロス・ポイント選択ボタン																									
MEMORY PROTECT	—	OFF 、ON	[ON] に設定すると、プリセットへの保存を禁止します。																								
RECALL LOCK	—	OFF 、ON	[ON] に設定すると、プリセットの呼び出しを禁止します。																								
BEEP	—	OFF、 ON	ビープ音のオン/オフを設定します。																								
LCD BACKLIGHT	—	0 ~ 7	ディスプレイの明るさを調整します。 ※ [0] に設定時、ディスプレイのバックライトは完全に消灯しません。																								
DIMMER	—	0 ~ 7	LED の明るさを調整します。 ※ [0] に設定時、LED は完全に消灯しません。																								
TOP DISPLAY	—	IN/OUT STATUS、INPUT STATUS1、INPUT STATUS2、 OUTPUT STATUS 、AUDIO VOLUME	起動時に表示するトップ画面を設定します。																								
START UP	—	LAST MEMORY 、PRESET1 ~ 32	<p>起動時に呼び出す設定を選びます。</p> <p>LAST MEMORY : 最後に保存した設定を呼び出します。[LAST MEMORY] 選択時は、以下のタイミングで内部メモリーに設定を保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> メニューを開いたとき メニューを閉じたとき 最後に操作してから無操作のまま 10 秒経過したとき 																								
MONITOR STATUS	—	(ENTER)	[VALUE] つまみを押すと、「MONITOR STATUS」ポップアップが表示されます。HDBaseT OUTPUT 端子または HDMI OUTPUT 端子に接続されている機器の状態を表示します。																								
INPUT STATUS	—	CH1 ~ 8	映像入力チャンネルを選んで [VALUE] つまみを押すと、「INPUT STATUS」ポップアップが表示されます。入力映像のフォーマット情報を表示します。																								
DELETE STILL IMAGE	—	1 ~ 4	静止画の保存先 1 ~ 4 を選んで [VALUE] つまみを押すと、「DELETE STILL」ポップアップが表示されます。保存先の静止画を削除します。																								
VERSION	—	—	システムのプログラム・バージョンを表示します。																								
FACTORY RESET	—	(ENTER)	本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。																								

ネットワークの設定

ネットワークの機能

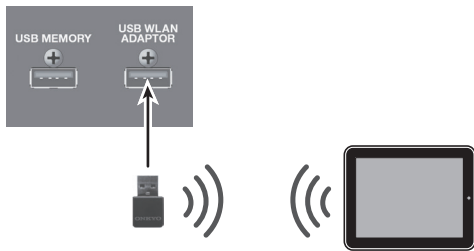
USB WLAN ADAPTOR 端子

USB WLAN ADAPTOR 端子にワイヤレス USB アダプター (別売) を装着することで、iPad アプリケーション「XS-80H Remote」から本機をリモート・コントロールすることができます。

※ ワイヤレス USB アダプターは、ONKYO UWF-1、または Roland WNA1100-RL をお使いください。

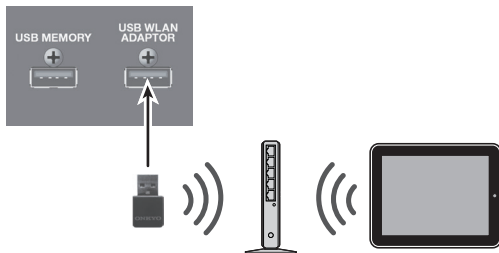
無線 LAN 接続には、以下の 2 つの方法があります。

- ① 直接 iPad と接続する方法 (AD-HOC モード) ⇒ P.14



- ② 無線 LAN 親機を介して接続する方法

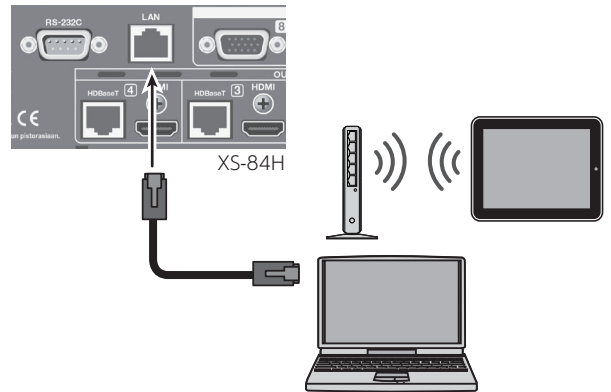
ルーターなどの無線 LAN 親機と本機を無線で接続し、無線 LAN 親機を介して iPad と無線で接続します。



⇒ 無線 LAN 親機を選んで接続する : P.15

⇒ 無線 LAN 親機に WPS で接続する : P.14

LAN 端子



LAN 端子に接続したパソコンやネットワーク機器など外部機器から TCP コントロール・コマンドを使って、本機をリモート・コントロールすることができます。

詳しくは、「LAN 端子を利用した制御」(P.17) をご覧ください。

また、LAN 端子に接続した無線 LAN 親機を介して、iPad アプリケーション「XS-80H Remote」から本機をリモート・コントロールすることができます。

詳しくは、「無線 LAN 親機を有線で接続する」(P.16) をご覧ください。

無線 LAN で接続する

準備する

無線 LAN に接続するために、下記の機器を準備してください。

- 無線 USB アダプター
(別売：ONKYO UWF-1、Roland WNA1100-R)
- iPad
- 無線 LAN 親機 (無線 LAN ルーターなど) (*1) (*2)

(*1) すべての無線 LAN 親機との接続は保証していません。

(*2) AD-HOC モード (P.14) で接続する場合は、不要です。

無線 LAN の接続状態を確認する

無線 LAN の接続状態は、ディスプレイ右上にアイコン表示されます。



アイコン	説明
	無線 LAN 親機と接続中です。 電波レベル (接続している無線 LAN 親機の電波の強さ) を 3 本のバーで表示します。
	無線 USB アダプターが装着されていますが、無線 LAN 親機と接続されていません。
	無線 USB アダプターが未装着です。
	AD-HOC モード (P.14) です。

本機と iPad を直接接続する (AD-HOC モード)

無線 LAN 親機を使わずに、本機と iPad を直接、無線で接続します (AD-HOC モード)。

ご注意!

AD-HOC モードで接続した iPad は、インターネットや他の無線機器への通信ができなくなります。

1. 本機の USB WLAN ADAPTOR 端子に無線 USB アダプター (別売) を差し込む。

無線 USB アダプターは、ONKYO UWF-1、または Roland WNA1100-RL をお使いください。

2. [MENU] ボタン ⇒ [WIRELESS LAN] ⇒ [AD-HOC MODE] を [ON] に設定する。

AD-HOC モードがオンになります。

3. WIRELESS LAN メニューから [INFORMATION] を選び、[VALUE] つまみを押す。

[WLAN INFORMATION] ポップアップ (P.16) が表示されます。

iPad と接続するときは、以下の情報が必要です。

表示	説明
SSID	SSID を表示します。
AD-HOC KEY	AD-HOC キーを表示します。

メモ

同じ機種を複数接続するときは、SSID を識別するために、ワイヤレス ID を設定します。詳しくは、「ワイヤレス ID を設定する」(P.16) をご覧ください。

4. iPad でネットワークの設定をする。

① iPad の [設定] ⇒ [Wi-Fi] ⇒ Wi-Fi をオンにする ⇒ [デバイス] で、本機の [WLAN INFORMATION] ポップアップに表示されている SSID を選ぶ。

② パスワードを入力する画面が表示されたら、本機の [WLAN INFORMATION] ポップアップに表示されている AD-HOC キーを入力します。

メモ

- 接続がうまくいかない場合、AD-HOC モードのチャンネルを変更すると、改善することがあります。

[MENU] ボタン ⇒ [WIRELESS LAN] ⇒ [AD-HOC CH] で AD-HOC モードのチャンネル (1 ~ 11) を変更します。

- AD-HOC モードによる接続をしないときは、iPad の [設定] ⇒ [Wi-Fi] の設定を元に戻してください。

5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

無線 LAN 親機に WPS で接続する

本機と無線 LAN 親機を WPS で接続します。

【WPS】とは、無線 LAN 親機との接続やセキュリティに関する設定を簡単にすることができる機能です。

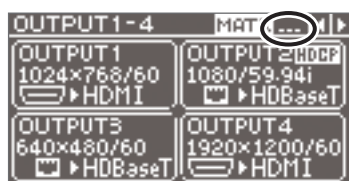
メモ

- お使いの無線 LAN 親機が WPS に対応している必要があります。
- 無線 LAN 親機に WPS で接続すると、接続情報が記憶され、次回からは自動的に無線ネットワークに接続されます。

1. 本機の USB WLAN ADAPTOR 端子にワイヤレス USB アダプター（別売）を差し込む。

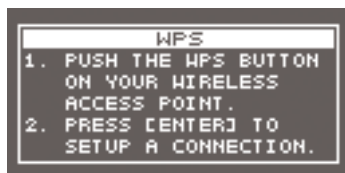
ワイヤレス USB アダプターは、ONKYO UWF-1、または Roland WNA1100-RL をお使いください。

2. ディスプレイ右上に、以下のアイコンが表示されるまで待つ。



3. [MENU] ボタン ⇒ [WIRELESS LAN] ⇒ [WPS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

「WPS」ポップアップが表示されます。



4. 無線 LAN 親機の WPS 操作（例：無線 LAN 親機の WPS ボタンを押す）をする。

※ 無線 LAN 親機の WPS 操作は、無線 LAN 親機の取扱説明書をご覧ください。

5. [VALUE] つまみを押す。

WPS による接続が実行されます。

接続が成功すると「WPS」ポップアップが閉じ、WIRELESS LAN のメニューに戻ります。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

7. iPad と無線 LAN 親機を接続する。

- iPad の「設定」⇒「Wi-Fi」⇒ Wi-Fi をオンにする ⇒ 「ネットワークを選択」で、本機が接続している無線 LAN 親機を選ぶ。

無線 LAN 親機を選んで接続する

無線 LAN アクセス・ポイントの一覧から、本機と接続したい無線 LAN 親機を選んで接続します。

※ 無線方式 802.11g/n (2.4GHz)、認証方式 WPA/WPA2 に対応しています。

※ 無線 LAN 親機の操作方法は、無線 LAN 親機の取扱説明書をご覧ください。

1. 本機の USB WLAN ADAPTOR 端子にワイヤレス USB アダプター（別売）を差し込む。

ワイヤレス USB アダプターは、ONKYO UWF-1、または Roland WNA1100-RL をお使いください。

2. [MENU] ボタン ⇒ [WIRELESS LAN] ⇒ [ACCESS POINT] を選び、[VALUE] つまみを押す。

「ACCESS POINT」ポップアップが表示されます。

- 現在選択中の無線 LAN 親機は、番号が反転表示されます
- 半角英数字以外の名前は、正しく表示されません。

3. 接続したい無線 LAN 親機を選び、[VALUE] つまみを押す。

初めて接続する無線 LAN 親機の場合

「PASSPHRASE」(パスワード)ポップアップが表示されます。手順 4 へ進んでください。



過去に接続したことのある無線 LAN 親機の場合

無線 LAN 親機を選んだだけで接続されます。接続が成功すると、WIRELESS LAN のメニューに戻ります。手順 7 へ進んでください。

セキュリティ情報を入力する

※ 初めて接続する無線 LAN 親機の場合のみ、必要な操作です。

4. 無線 LAN 親機のセキュリティ情報（パスワード）を入力する。

[VALUE] つまみを押すと、カーソル位置の文字を変更できるようになります。[VALUE] つまみを回して文字を変更し、[VALUE] つまみを押して確定します。

カーソルの移動	[VALUE] つまみを回す カーソルが前または後ろに移動します。
文字の挿入	[◀] ボタンを押す カーソル位置の 1 つ前にある文字と同じ文字を挿入します。
文字の削除	[▶] ボタンを押す カーソル位置の文字を削除します。

5. 文字の入力を終えたら、[EXIT] ボタンを押す。

6. メッセージを確認し、[VALUE] つまみを押す。 (中止したいときは、[EXIT] ボタンを押す。)

接続が成功すると、WIRELESS LAN のメニューに戻ります。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

8. iPad と無線 LAN 親機を接続する。

- iPad の「設定」⇒「Wi-Fi」⇒ Wi-Fi をオンにする ⇒ 「ネットワークを選択」で、本機が接続している無線 LAN 親機を選ぶ。

ワイヤレス ID を設定する

無線 LAN で接続した iPad アプリケーション [XS-80H Remote] に表示される本機のデバイス名や SSID を設定します。

ネットワーク上に本機が複数台ある場合、ワイヤレス ID を 1 ~ 99 の範囲で設定することで、デバイス名や SSID を変更できます。下記は XS-84H の例です。

Wireless ID = 0 のとき [XS-84H] (初期値)

Wireless ID = 1 のとき [XS-84H-1]

:

Wireless ID = 99 のとき [XS-84H-99]

※ ワイヤレス ID は、LAN と無線 LAN で共通の設定です。

1. [MENU] ボタン ⇒ [WIRELESS LAN] ⇒ [WIRELESS ID] でワイヤレス ID を設定する。

[WIRELESS ID] を設定すると、デバイス名や SSID は自動的に変更されます。

2. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

無線 LAN の情報を確認する

本機の無線 LAN の情報を確認します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [WIRELESS LAN] ⇒ [INFORMATION] を選び、[VALUE] つまみを押す。

[WLAN INFORMATION] ポップアップが表示されます。

以下の情報を確認できます。

表示	説明
STATUS	接続状態を表示します。 CONNECTED : 無線 LAN 親機と接続中です。 NOT CONNECTED : ワイヤレス USB アダプターが装着されていますが、無線 LAN 親機が接続されていません。 NOT AVAILABLE : ワイヤレス USB アダプターが未装着です。 AD-HOC : AD-HOC モードです。
SSID	SSID を表示します。
IP ADDRESS	IP アドレスを表示します。
SUBNET MASK	サブネット・マスクを表示します。
MAC ADDRESS	MAC アドレスを表示します。
AD-HOC KEY	AD-HOC キーを表示します。

2. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

無線 LAN 親機を有線で接続する

本機と無線 LAN 親機をネットワーク・ケーブルで接続し、無線 LAN 親機を介して iPad と無線で接続します。

※ 無線 LAN 親機の操作方法は、無線 LAN 親機の取扱説明書をご覧ください。

1. 本機の LAN 端子と無線 LAN 親機をネットワーク・ケーブルで接続する。

2. [MENU] ボタン ⇒ [LAN] で以下を設定する。

メニュー項目	説明
CONFIGURE	IP アドレスの自動取得 (USING DHCP) / 手動設定 (MANUALLY) を設定します。
IP ADDRESS	[CONFIGURE] を [MANUALLY] に設定しているときの IP アドレスを設定します。 ※ サブネット・マスクは、[255.255.255.0] 固定です。

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

4. iPad と無線 LAN 親機を接続する。

- 1 iPad の [設定] ⇒ [Wi-Fi] ⇒ Wi-Fi をオンにする ⇒ [ネットワークを選択] で、本機が接続している無線 LAN 親機を選ぶ。

著作権保護 (HDCP) のかかっている映像を扱うときのご注意

「AUDIO INPUT」の「AUDIO FOLLOW」を「OFF」に設定すると、音声はすべての出力チャンネルへ送られます。「AUDIO FOLLOW」＝「OFF」の設定は、すべての出力チャンネルに影響を与えますので、HDCPがかかっている映像を入力する場合は、扱いにご注意ください。

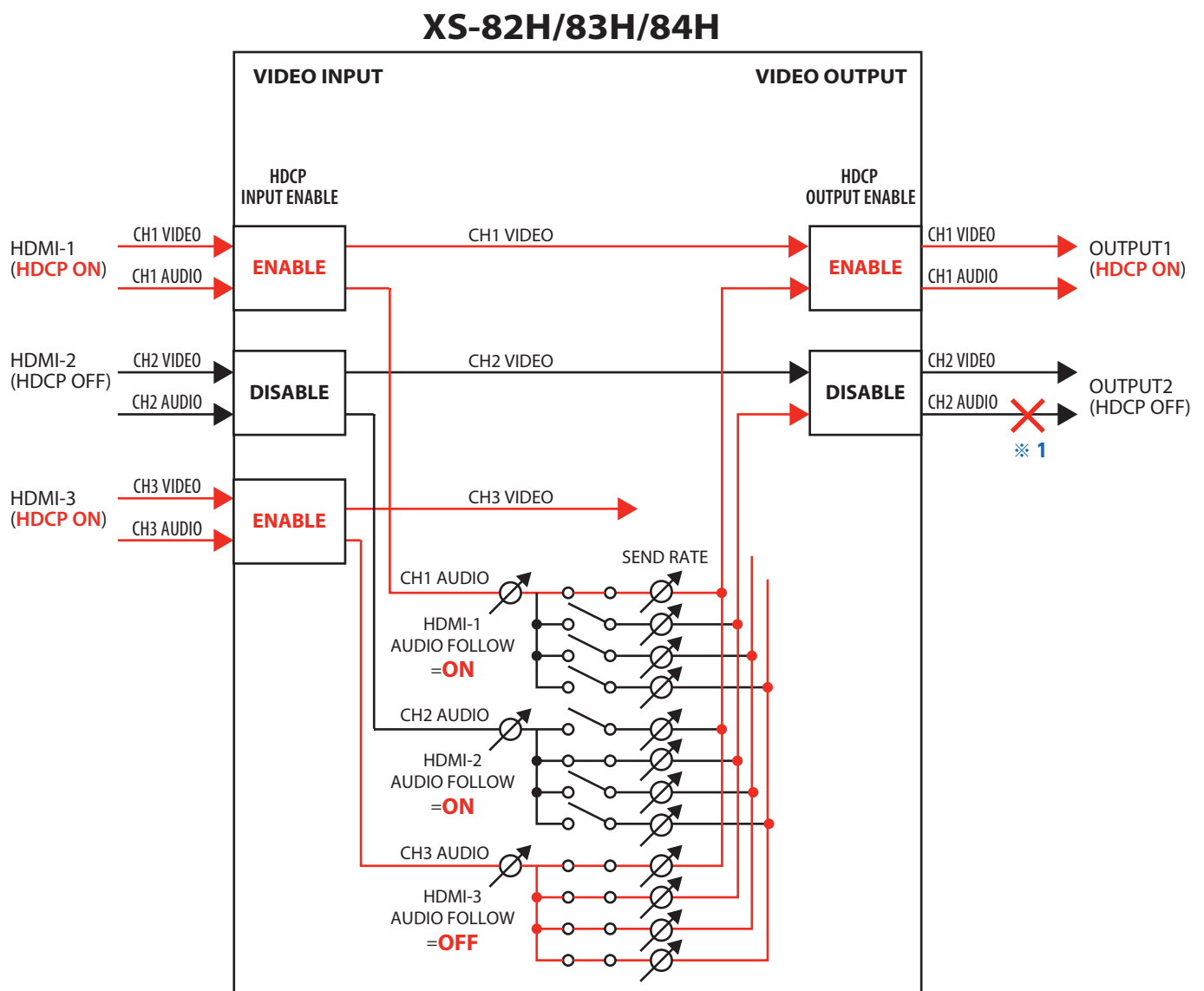
著作権保護 (HDCP) のかかっている映像を入出力しているとき、以下の2つの条件を両方とも満たす場合、他チャンネルの音声信号にもHDCP信号が混ざります。HDCP信号が混ざることによって、他チャンネルの音声が出力されません。

- (1) 「AUDIO FOLLOW」を「OFF」に設定している。
- (2) 出力チャンネルへの音声の送り量を1%以上に設定している。
※ 各出力チャンネルへの音声の送り量は、「AUDIO INPUT」⇒「HDMI-1」～「HDMI-4」⇒「OUT1 SEND RATE」～「OUT4 SEND RATE」（※機種により異なります）で設定します。

音声が出力されないときの設定例（下図）

HDMI-2の入力映像（HDCPがかかっていない映像）をOUTPUT2へHDCP＝「DISABLE」の設定で出力している場合

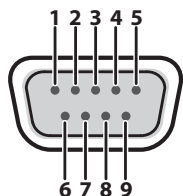
HDCPがかかっているHDMI-3の「AUDIO FOLLOW」を「OFF」に設定してOUTPUT2にも音声を送ると、HDCP信号がHDMI-2の音声信号と混ざるため、HDMI-2の音声は出力されません（下図の※1）。



コマンド・リファレンス

RS-232C 端子や LAN 端子を利用して、本機を外部機器からリモート・コントロールすることができます。

RS-232C 端子の仕様



D-sub 9ピン (オス)

ピン番号	信号名
1	N.C.
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	N.C.

通信方式	調歩同期式(非同期式)全二重
通信速度	9600bps/38400bps
パリティ	なし
データ長	8bit
ストップ・ビット長	1bit
コード体系	ASCII
フロー制御	XON/XOFF

メモ

RS-232C でコマンドを受信して、本機を外部機器からリモート・コントロールするときは、[MENU] ボタン ⇒ [RS-232C] ⇒ [FUNCTION] を [RECEIVER] に設定してください。

コマンドの概要

コマンドの形式は、「アルファベット 3 文字 (大文字)」と「:」(セミコロン)と「CR」(0dH)のアスキー・コードの列からなります。また、コマンドに引き数がある場合、アルファベット 3 文字と引き数の間に「:」(コロン)が入ります。複数の引き数がある場合は「,」(コンマ)で区切ります。

[:]

本機がコマンドと引き数の区切りを認識するためのコードです。

[:] [CR]

本機がコマンド終了を認識するためのコードです。

※ RS-232C の場合、[CR] は必要ありません。

※ CR (0DH)、Xon (11H) / Xoff (13H) は制御コードです。

※ 外部機器が本機に連続してコマンドを送信する場合、必ず「ACK;」が返ってきてから次のコマンドを送信してください。

LAN 端子を利用した制御

本機は、TCP コントロール・コマンドを使って、外部機器からリモート・コントロールすることができます。

端子	LAN 端子
プロトコル	TCP
ポート番号	8023

LAN の設定をする

1. [MENU] ボタン ⇒ [LAN] で以下を設定する。

メニュー項目	説明
CONFIGURE	IP アドレスの自動取得 (USING DHCP) / 手動設定 (MANUALLY) を設定します。
IP ADDRESS	[CONFIGURE] を [MANUALLY] に設定しているときの IP アドレスを設定します。 ※ サブネット・マスクは、[255.255.255.0] 固定です。

2. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

LAN の情報を確認する

1. [MENU] ボタン ⇒ [LAN] ⇒ [INFORMATION] を選び、[VALUE] つまみを押す。

[LAN INFORMATION] ポップアップが表示されます。

以下の情報を確認できます。

表示	説明
STATUS	CONNECTED : LAN ケーブルが接続されています。 NOT CONNECTED : LAN ケーブルが接続されていません。
IP ADDRESS	IP アドレスを表示します。
SUBNET MASK	サブネット・マスクを表示します。
MAC ADDRESS	MAC アドレスを表示します。

2. [MENU] ボタンを押して、[LAN INFORMATION] ポップアップを閉じる。

受信コマンド

VIS 映像入力チャンネルの種類を選びます。

VIS:a,b;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

b: 入力の種類

0: HDMI、1: RGB/COMPONENT、2: COMPOSITE、3: YC、
4: STILL1、5: STILL2、6: STILL3、7: STILL4、8: SHARE

VIC 映像入力チャンネルのカラー・スペースを選びます。

VIC:a,b;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

b: カラー・スペース

0: Auto、1: RGB (0 ~ 255)、2: RGB (16 ~ 235)、3: YCC (SD)、
4: YCC (HD)

VIH 映像入力チャンネルの HDCP を設定します。

VIH:a,b;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

b: HDCP Input Enable 0: Disable、1: Enable

VIA 映像入力チャンネルのアスペクト比を設定します。

VIA:a,b;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

b: アスペクト比

0: Full、1: Letterbox、2: Crop、3: Dot by Dot、4: Manual

VOS 映像出力チャンネルの OUTPUT SELECT を設定します。

VOS:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: OUTPUT SELECT 0: Auto、1: HDMI、2: HDBaseT

VOR 映像の出力解像度を設定します。

VOR:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: OUTPUT の RESOLUTION

0: 480i 4:3/576i 4:3、1: 480i 16:9/576i 16:9、
2: 480p 4:3/576p 4:3、3: 480p 16:9/576p 16:9、
4: 720/59.94P、5: 1080/59.94i、6: 1080/59.94P、7: 640 × 480、
8: 800 × 600、9: 1024 × 768、10: 1280 × 768、
11: 1366 × 768、12: 1280 × 1024、14: 1600 × 1200、
15: 1920 × 1200

VOH 映像出力チャンネルの HDCP を設定します。

VOH:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: HDCP Output Enable 0: Disable、1: Enable

VOC 映像出力チャンネルのカラー・スペースを選びます。

VOC:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: カラー・スペース

0: Auto、1: RGB (0 ~ 255)、2: RGB (16 ~ 235)、3: YCC (444)、
4: YCC (422)

VOD 映像出力チャンネルの信号の種類を設定します。

VOD:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: DVI-D/HDMI Signal 0: DVI-D、1: HDMI

OAV OUTPUT に出力する映像と音声の入力チャンネルを選びます。

OAV:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

OVS OUTPUT に出力する映像の入力チャンネルを選びます。

OVS:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

OAS OUTPUT に出力する音声の入力チャンネルを選びます。

OAS:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

OFS [OFF] ボタンの状態を変更します。

OFS:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: [OFF] ボタン 0: Off、1: On

IDL HDMI INPUT 端子から入力する音声のレベルを設定します。

IDL:a,b;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

b: レベル 0 ~ 127

IAL AUDIO INPUT 端子から入力する音声のレベルを設定します。

IAL:a,b;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

b: レベル 0 ~ 127

OAL 音声の出力レベルを設定します。

OAL:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: レベル 0 ~ 127

IDM HDMI INPUT 端子から入力する音声のミュートのオン/オフを設定します。

IDM:a,b;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

b: ミュート 0: Off、1: On

IAM AUDIO INPUT 端子から入力する音声のミュートのオン/オフを設定します。

IAM:a,b;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

b: ミュート 0: Off、1: On

OAM 出力音声のミュートのオン/オフを設定します。

OAM:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: ミュート 0: Off, 1: On

ADT 出力音声の遅延時間を設定します。

ADT:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

b: レベル 0 ~ 170 (ms)

MOD 映像の出力モードを設定します。

MOD:a;

a: モードの種類

0: MATRIX, 1: MULTI-2, 2: MULTI-3, 3: MULTI-4,
4: SPAN-2, 5: SPAN-3, 6: SPAN-4, 7: ROTATION-L1,
8: ROTATION-L2, 9: ROTATION-L3, 10: ROTATION-L4,
11: ROTATION-R1, 12: ROTATION-R2, 13: ROTATION-R3,
14: ROTATION-R4, 15: 4K-1, 16: 4K-2, 17: DISSOLVE-1,
18: PGM-PST

PSE プリセットで保存した設定を呼び出します。

PSE:a;

a: プリセット番号 0 (1) ~ 31 (32)

ITS INPUT の状態を返します。

ITS:a;

a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)

OTS OUTPUT の状態を返します。

OTS:a;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

CTS クロス・ポイント選択ボタンの状態を返します。

CTS:a;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)

ATO PGM-PST モード時、オート・テイクを実行します。

ATO:a,b;

a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1)

b: TAKE SW 1: AUTO TAKE

ASA OUTPUT1 への音声の送り量を設定します。

ASA:a,b;

a: 入力チャンネル番号

0 (HDMI-IN1) ~ 7 (HDMI-IN8),
8 (ANALONG-IN1) ~ 15 (ANALOG-IN8)

b: Send Rate 0 ~ 100 (%)

ASB OUTPUT2 への音声の送り量を設定します。

ASB:a,b;

a: 入力チャンネル番号

0 (HDMI-IN1) ~ 7 (HDMI-IN8),
8 (ANALONG-IN1) ~ 15 (ANALOG-IN8)

b: Send Rate 0 ~ 100 (%)

ASC OUTPUT3 への音声の送り量を設定します。

ASC:a,b;

a: 入力チャンネル番号

0 (HDMI-IN1) ~ 7 (HDMI-IN8),
8 (ANALONG-IN1) ~ 15 (ANALOG-IN8)

b: Send Rate 0 ~ 100 (%)

ASD OUTPUT4 への音声の送り量を設定します。

ASD:a,b;

a: 入力チャンネル番号

0 (HDMI-IN1) ~ 7 (HDMI-IN8),
8 (ANALONG-IN1) ~ 15 (ANALOG-IN8)

b: Send Rate 0 ~ 100 (%)

PLS パネル・ロックのオン/オフを設定します。

PLS:a;

a: Panel Lock Sw 0: Off, 1: On

※ [SYSTEM] の [KEY LOCK MODE] の各項目がすべて [OFF] の場合、
[On] を送ってもオンになりません。

KLM キー・ロック・モードを設定します。

KLM:a,b;

a: Key Lock Mode

0: CROSSPOINT, 1: SWITCHING MODE, 2: MENU+EXIT,
3: CURSOR+VALUE, 4: CROSS-NOINPUT, 5: CROSS-OFF,
6: CROSS-OUTPUT1, 7: CROSS-OUTPUT2,
8: CROSS-OUTPUT3, 9: CROSS-OUTPUT4

b: Key Lock Sw 0: Off, 1: On

KLS キー・ロック・モードの状態を返します。

KLS;

VER バージョン情報を返します。

VER;

ACS 本機の状態を確認します。動作中は「ACK;」を返します。

ACS;

XON フロー制御です。

XON

XOFF フロー制御です。

XOFF

送信コマンド

ACK 送信されたコマンドを正しく受信できたときに送信します。

ACK;

ERR 送信されたコマンドを正しく受信できないときに送信します。

ERR:a;

- a: 0 (syntax error) : 受信したコマンドに誤りがあります。
- 4 (invalid value error) : 受信したコマンドの引数が無効です。
- 5 (out of range error) : 受信したコマンドの引数が範囲外です。

ITS 映像入力チャンネルの状態を確認します。

ITS:a,b,c,d,e;

- a: 入力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)
- b: 入力の種類
 - 0: HDMI, 1: RGB/COMPONENT, 2: COMPOSITE, 3: YC,
 - 4: STILL1, 5: STILL2, 6: STILL3, 7: STILL4, 8: SHARE
- c: カラー・スペース
 - 0: Auto, 1: RGB (0 ~ 255), 2: RGB (16 ~ 235), 3: YCC (SD),
 - 4: YCC (HD)
- d: HDCP Input Enable 0: Disable, 1: Enable
- e: アスペクト比
 - 0: Full, 1: Letterbox, 2: Crop, 3: Dot by Dot, 4: Manual

OTS 映像出力チャンネルの状態を確認します。

OTS:a,b,c,d,e,f;

- a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)
- b: OUTPUT SELECT 0: Auto, 1: HDMI, 2: HDBaseT
- c: OUTPUT の RESOLUTION
 - 0: 480i 4:3/576i 4:3, 1: 480i 16:9/576i 16:9,
 - 2: 480p 4:3/576p 4:3, 3: 480p 16:9/576p 16:9,
 - 4: 720/59.94P, 5: 1080/59.94i, 6: 1080/59.94P, 7: 640 × 480,
 - 8: 800 × 600, 9: 1024 × 768, 10: 1280 × 768,
 - 11: 1366 × 768, 12: 1280 × 1024, 14: 1600 × 1200,
 - 15: 1920 × 1200
- d: HDCP Output Enable 0: Disable, 1: Enable
- e: カラー・スペース
 - 0: Auto, 1: RGB (0 ~ 255), 2: RGB (16 ~ 235), 3: YCC (444),
 - 4: YCC (422)
- f: DVI-D/HDMI Signal 0: DVI-D, 1: HDMI

CTS クロス・ポイント選択ボタンの状態を確認します。

CTS:a,b,c,d;

- a: 出力チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 3 (CH 4)
- b: 映像選択チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)
- c: 音声選択チャンネル番号 0 (CH 1) ~ 7 (CH 8)
- d: OUTPUT [OFF] ボタン・ステータス 0: Off, 1: On

KLS キー・ロック・モードの状態を確認します。

KLS:a,b,c,d,e,f,g,h,i,j,k;

- a: Lock Status 0: Off, 1: On
- b: Cross Point 0: Off, 1: On
- c: Switch Mode 0: Off, 1: On
- d: Menu+Exit 0: Off, 1: On
- e: Cursor+Value 0: Off, 1: On
- f: Cross-Noinput 0: Off, 1: On
- g: Cross-Off 0: Off, 1: On
- h: Cross-Output1 0: Off, 1: On
- i: Cross-Output2 0: Off, 1: On
- j: Cross-Output3 0: Off, 1: On
- k: Cross-Output4 0: Off, 1: On

VER VER コマンドを受信したときに送信します。

VER:XS-8aH,b;

- a: XS-82H=2, XS-83H=3, XS-84H=4
- b: バージョン ※バージョン情報は ASCII 文字列。

XON フロー制御です。

XON

XOFF フロー制御です。

XOFF

